

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年7月22日 臨時庁議	
開 催 日 時	平成25年7月22日（月） 午前 9時11分から 午前 9時25分まで	
開 催 場 所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出 席 者	富岡市長、田中副市長、和田教育長、星野審議監（秘書担当）、田中審議監（政策企画担当）、小林総務部長、佐藤市民環境部長、安田福祉部長、中村健康づくり部長、柳原都市建設部長、関根会計管理者、池田水道部長、内田議会事務局長、谷井学校教育部長、田中生涯学習部長、内田監査委員事務局長（担当課・事務局） 村山政策企画室長、佐藤同室主幹兼室長補佐、同室政策企画係芦原主任、稲葉秘書室長補佐	
会 議 内 容	（1）機構改革（案）について （2）定員適正化方針（案）について	
会 議 資 料	資料番号1 平成26年4月1日の機構改革及び職員配置について 資料番号2 【組織機構比較表】 資料番号3 【組織機構と事務分掌（平成26年4月1日）】 資料番号4 朝霞市部室設置条例（案） 資料番号5 朝霞市定員適正化方針	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁		
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【市長あいさつ】

【議題】

（１）機構改革（案）について

【説明】

（担当課：村山）

第４次行政改革大綱（Ｈ２３～２７年度）の取組項目として位置付けられ、庁内検討委員会を立ち上げ、これまでに１０回開催し、「機構改革・事務分掌」、「定員適正化方針」、「定数条例」を審議してきた。

今回の機構改革のポイントは、市長公室の設置、危機管理部門を市長直轄組織に位置づける、福祉部門における課の分割、青少年育成及び幼稚園就園費等補助に関する事務を子育て部門に集約する、の４点である。

「定数条例」について、総数は現行と同じ７９９人とし、配置数の実態を勘案し、部局の定数を変更するものとする。

８月下旬を予定している全員協議会で議員への説明を行い、９月議会に「部室設置条例」「定数条例」を提出したいと考えている。

「部室設置条例」は平成２６年４月１日、「定数条例」は平成２５年１０月１日に施行の予定である。

[質疑等]

なし

【結果】

本件については、原案のとおり決定する。

**【議題】**

(2) 定員適正化方針（案）について

**【説明】**

(担当課：村山)

第4次行政改革において、組織機構の見直しとともに、定員の適正化を位置付けている。

「定員適正化方針」について、類似団体との比較を含め、データを基に定員の現状分析を行った。

現在の職員数は標準規模を下回る水準にあり、効率的な組織運営がなされているものと考えられることから、基本的には、現行の水準を維持していくこととする。

ただし、目標数値にはある程度の幅をもたせた範囲設定が必要と判断し、現職員数の5%（±18人）の範囲内で柔軟に対応することとした。

**〔質疑等〕**

なし

**【結果】**

本件については、原案のとおり決定する。

**【閉会】**